

北海道当別町 ふるさと納税を活用した取組のご紹介（30年度）

当別町では、ふるさと納税制度により、町出身の方や町を応援したいという方より心のこもったご寄附をいただいております。皆様からいただいた寄附金は、個性豊かなまちづくりを推進するため各種事業を展開し、当別町の更なる発展のために活用しています。

()は、ふるさと納税充当予算額

(1)産業力の強化

当別町道の駅の運営 総事業費 45,800,000 円(うち 25,300,000 円)

当別町の新たなランドマーク施設として、平成29年9月に「北欧の風 道の駅とうべつ」がオープンしました。大きな三角屋根が特徴で、館内には木材をふんだんに使用しており、開放感あふれる北欧風のつくりになっています。平成30年度は、さらなる来場者の確保に向けたプロモーションをおこなうとともに、道の駅オリジナル商品の開発にも取り組みます。



他4事業 総事業費 277,679,000 円(うち 277,375,000 円)

(2)エネルギー地域分散型都市の形成

町内会街路灯 LED 化の推進 総事業費 5,970,000 円(うち 5,970,000 円)

町内会の街路灯をLED化することで、省エネルギー化を推進し、持続可能なまちづくりを進めるとともに、夜間における交通安全と、犯罪のない安心・安全なまちを目指します。



(3)まちに人を呼び込む「定住・交流」の促進

当別町コミュニティバスの運行 総事業費 24,852,000 円(うち 12,852,000 円)

当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)は、官民共同により、平成18年から運行を開始し、こどもから高齢者まで安心して移動できる利便性の高い交通手段として運行しています。

また、道の駅の開業に伴い、新たにJR石狩太美駅と道の駅を結ぶ路線を運行し、町内外からの利用者の幅を広げます。



除排雪の推進 総事業費 318,000,000 円(うち 11,000,000 円)

道内でも降雪量が多い当別町では、年間で除排雪費として3億円を超える費用が掛かっています。冬期間の快適な町民生活と産業・経済活動を確保するため、ふるさと納税を活用し、豪雪地帯でも安心して生活できる環境を確保します。



他7事業 総事業費 25,992,000 円(うち 15,663,000 円)

(4) 未来を担う子どもの育成と町民が幸せに暮らせる社会の形成

小中一貫教育の推進 総事業費 10,330,000 円(うち 10,330,000 円)

一貫教育を推進する講師を各中学校区(2校)に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図ります。

また、小学校高学年の中学校登校や中学校教員の小学校への乗り入れ授業を行い、児童生徒・教職員の交流を促進し、「小中一貫教育でめざす人間像」である「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人材」の育成を図ります。



乳幼児等医療費助成対象の拡充 総事業費 12,569,000 円(うち 3,213,000 円)

ふるさと納税を活用することで、医療費助成の対象枠を拡充し、ほぼすべての世帯が通院は小学校就学前まで初診時の一部負担のみ、入院は対象学齢を高校卒業まで引き上げたうえで全額無料とします。

医療費を助成することで子育て世帯の経済的負担の軽減と次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援します。



保育料の無償化の推進 総事業費 4,698,000 円(うち 3,173,000 円)

ふるさと納税を活用することで、保育施設を利用する3歳未満の第2子に係る保育料を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減と子どもを産み育てやすい環境の充実に努めます。



放課後学童保育「子どもプレイハウス」の充実 総事業費 18,137,000 円(うち 5,500,000 円)

就労等の理由により、放課後等に保護者がいない家庭の児童をお預かりし、安全な環境の中で保育サービスの提供と学習の支援を実施します。

児童の健全育成及び学力向上を推進し、子育て支援の充実に努めます。



他6事業 総事業費 42,541,000 円(うち 13,537,000 円)